

教育目標 やさしく かしこく たくましく



畑小  
だより

佐渡市立畑野小学校  
学校だより  
令和元年12月13日 発行

校長 古塩 正明  
TEL0259-66-2019

## 「ことばの学校」高橋なんぐ様の講演より

校長 古塩 正明

ある外国の飛行機の中でこんな出来事があった。

ちょうど飛行機が離陸する前、ある白人女性が自分の予約席に座ろうとしていた。すると、そのとなりに黒人の男性客が先に座っていた。

それを不快に思った白人の女性は急にキャビンアテンダント（CA）さん呼び出し、血相を変えてこう言った。

「何で私がこんな場所に座らなきゃいけないのよ！何とかしてほしいわ！」

白人の女性は目くじらを立ててCAさんにくっつかかかった。黒人客の隣にされることに腹が立ってしかたがないらしい。とにかくそのCAさんに文句をぶちまけていた。

おとなしく自分の席に座っている黒人の男性客はどうしたらいいのか困っている。

まわりにお客さんも何事かと思ってその様子を静かに見ていた。（ひどい要求をする人もいるものだ）、という雰囲気が周りにただよった。

そのCAさんは、少し困った様子を見せたが、その後の対応は飛行機に乗っているお客さん全員を感動させるような素晴らしいものだった。

CAさんの対応はこうだった。

「しばらくお待ちください。」と、CAさんはその場を離れ予約シートを確認しに行った。それを確認したCAさんは、もどってきて2人のお客さんに向かっていねいにこう言った。

「大変お待たせいたしましたお客様。今日は運良く、一番デラックスで高額なビジネス席が1つだけ空いており、ご用意できました。もしよろしければその席にご移動していただくことは可能でしょうか？」と、CAさんはなんと黒人男性の方に声をかけ、高級ビジネス席に招待したのである。それを聞いた白人の女性は、（え、私じゃないの）という顔をしていたが、ちょっと恥ずかしそうにしながら自分の席に腰をおろした。そしてそのCAさんは、

「大変失礼いたしました。これでご満足いただけただけでしょうか？申し訳ございませんでした。」と頭を深々と下げて白人女性に謝罪をした。白人女性はもう何も文句を言えなかった……。気まずいような顔をしてしぶしぶ自分の席に座っているしかなかった。

このCAさんの臨機応変な対応ぶりに、見ていた周りのお客さんからも拍手喝采が起きた。

このような人種差別のトラブルは外国でよくあることですが、どちらの側の人権にも配慮したこのような対応は、今後私たちも見習っていかなければいけないものだと思つづく感じました。

「ことばの学校」で、このようなよいお話をしていただいた高橋なんぐ様には深く感謝申し上げます。